

消費者インタビュー調査結果のまとめ

1. 調査の概要

(1) 目的

主に子育て世代（女性）の消費者としての実態やニーズを把握する。

(2) 調査対象

ハンサムママ・フェスタのイベントスペースへの来場者

調査人数：77名

(3) 実施日時・場所

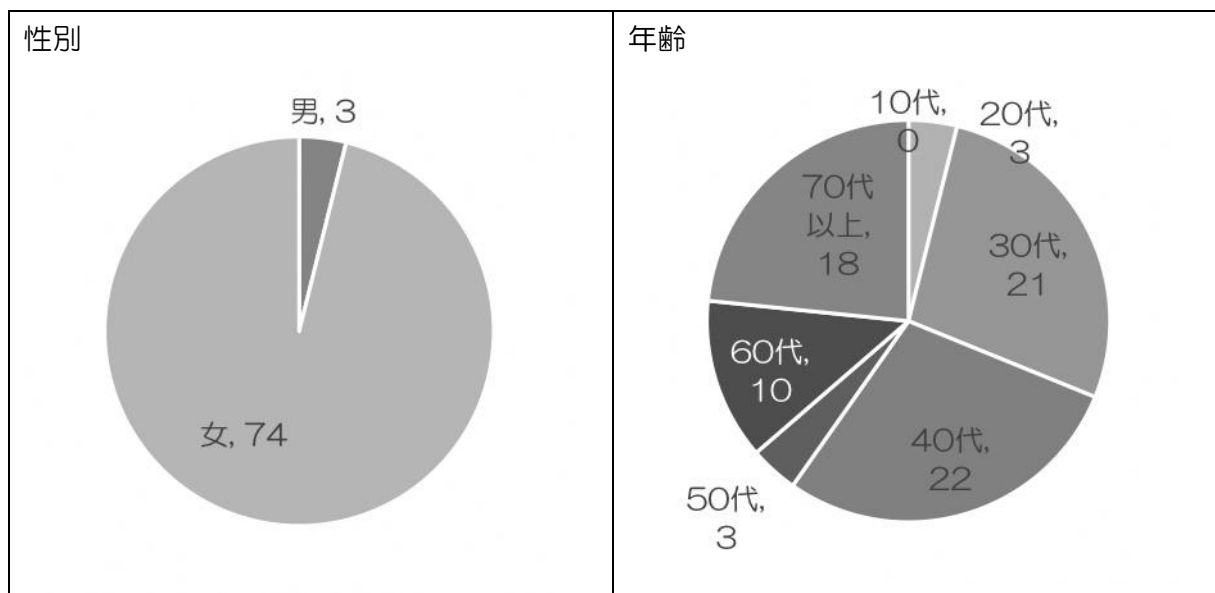
平成30年7月10日（火）10:30～15:30

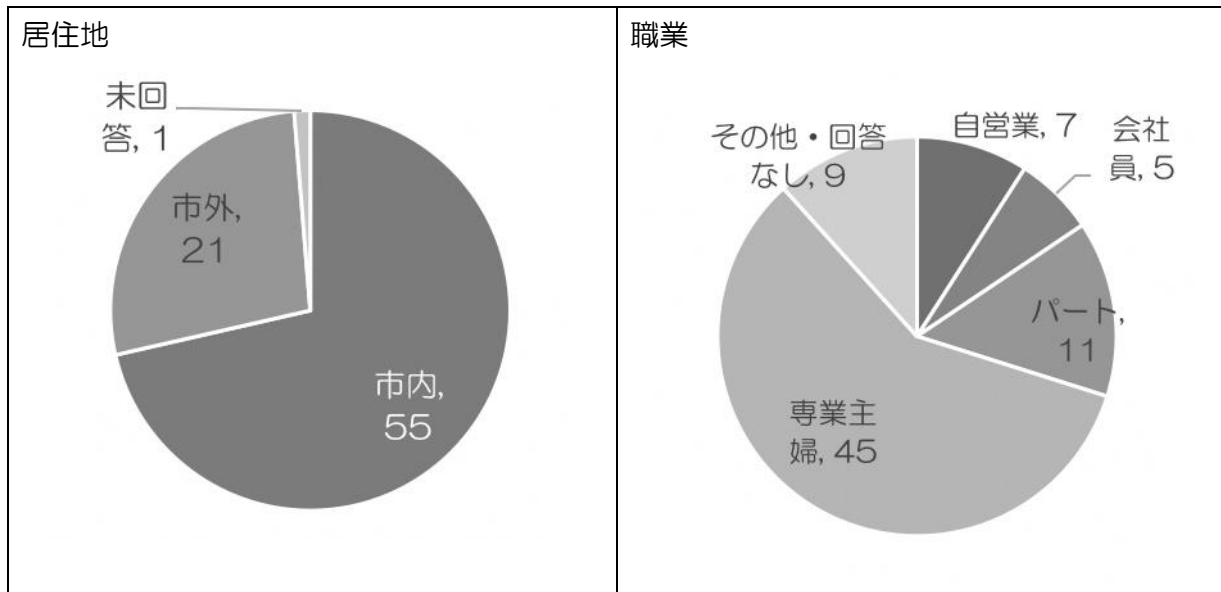
アスタ2階センターコート

(4) 調査方法

調査票をもとに、調査員が来場者にインタビューし、回答を記録する。

2. 回答者の属性





(居住地内訳)

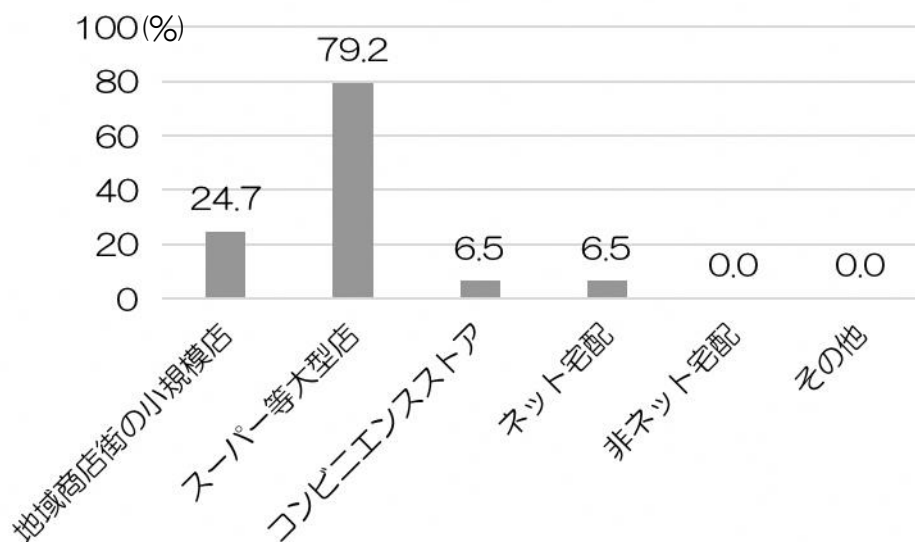
市内		市外	
芝久保町	11	武蔵野市	6
田無町	7	小平市	4
南町	7	新座市	2
保谷町	6	東久留米市	2
柳沢	4	東村山市	1
富士町	3	立川市	1
北原町	3	昭島市	1
緑町	3	東大和市	1
ひばりが丘	3	小金井市	1
谷戸町	2	杉並区	1
西原町	1	練馬区	1
向台町	1		
新町	1		
泉町	1		
栄町	1		
市内他(未回答)	1		
市内合計	55	市外合計	21

3. 調査結果

(1) ふだん買い物（食料品・日用雑貨等）する場所

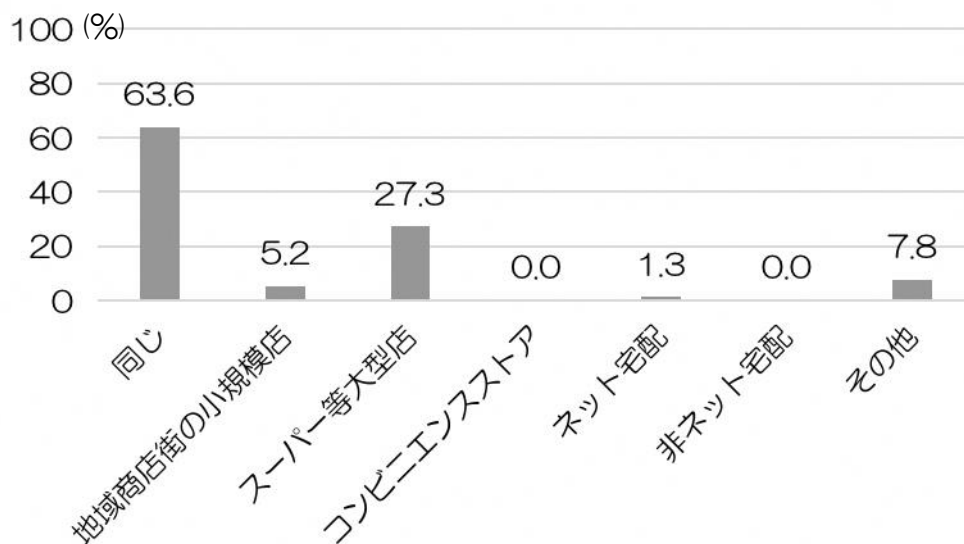
【平日】（複数回答）

回答者のうち、平日の買い物場所として、79.2%が「スーパー等大型店」、24.7%が「地域商店街の小規模店」を利用している。



【週末】（複数回答）

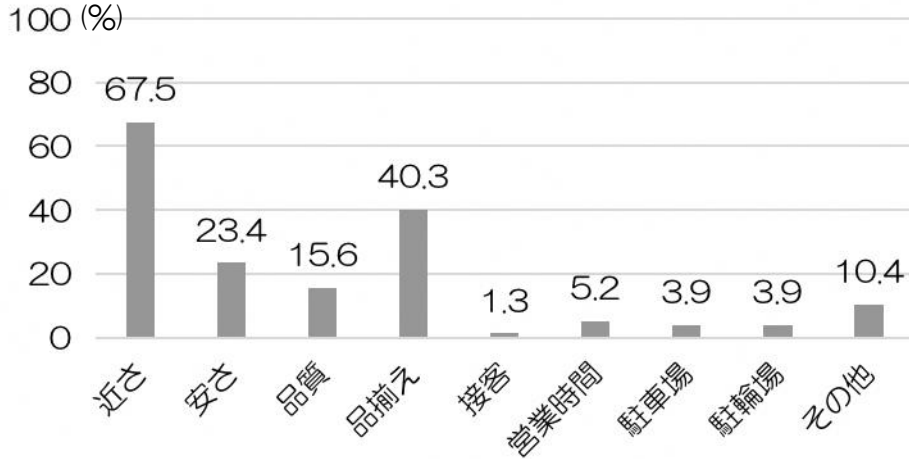
回答者のうち、週末の買い物場所として、63.6%が平日と買い物する場所が同じと回答した。27.3%が平日と異なる「スーパー等大型店」と回答した。



(2) (3)のの場所で買い物をする理由

【平日】（複数回答）

理由として、「近さ」が 67.5%で最も多かった。ついで、「品揃え」40.3%、「安さ」23.4%、「品質」15.6%だった。

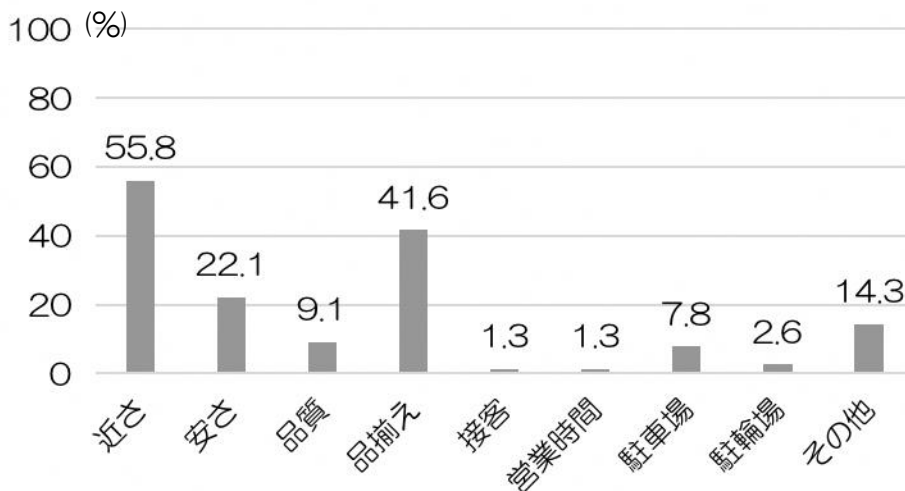


（その他のご意見）

- 子どもが気分転換できる。
- 商品がまとまっている。
- 気に入った商品がある。
- 子どもの送り迎えなどのルート、帰り道

【週末】（複数回答）

平日の場合と比べて、「近さ」「安さ」「営業時間」「駐輪場」の回答数が減り、「品揃え」「駐車場」「その他」の回答数が増えている。

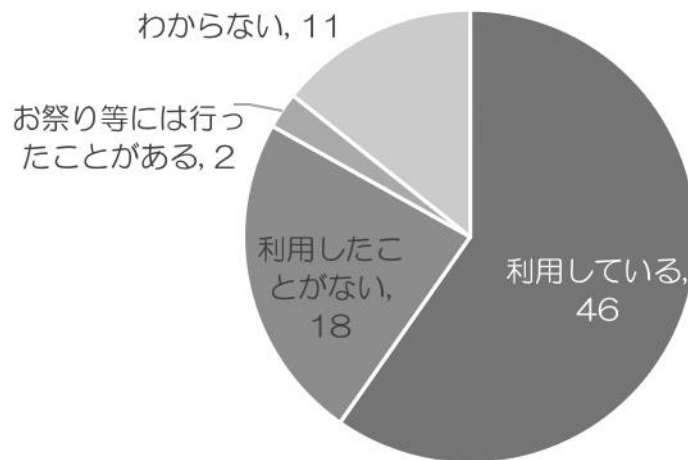


（その他のご意見）

- 子どもを遊ばせられる。
- お出かけ気分になれる。
- 牛乳と卵は生協で買うと決めている。
- 商品がまとまっている。

(3) 地域の商店街の利用の有無

回答者 77 名のうち、46 名が地域の商店街を「利用している」と回答した。



(利用している商店街や店)

- アスタ地下商店街
- 西武柳沢駅前の八百屋
- 田無駅のケーキ屋
- 市役所通りの魚屋・八百屋 など

(どんなときに利用するか)

- 野菜などが足りなくなったとき
- お刺身やお肉など、特にほしいものがあるとき

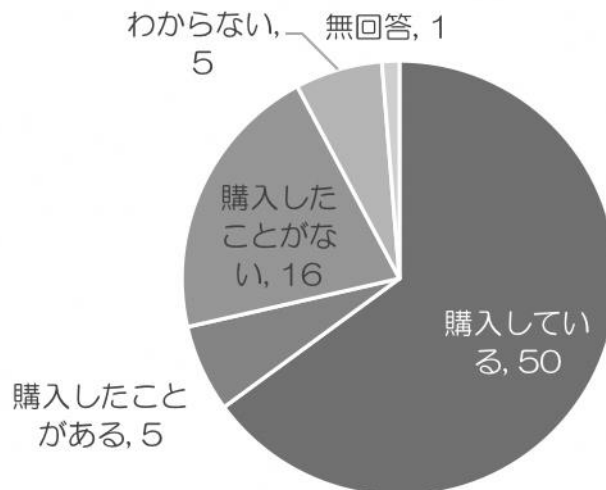
(4) どんな商店街だったら行きたくなる・行きやすくなるか

<p>商店街の雰囲気</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お店がたくさん開いていれば • 活気があったら • おしゃれ • 井戸端会議ができるような雰囲気 • お祭りなどで賑やかだと気づくし、行く気になる • フラワー通り商店街のようなところ • 常連さんが多くて新規では入りづらいので声をかけてもらえるといい • ゆっくり買い物できるところ
<p>店の種類</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 多様な店の種類、いろいろなものが買える • 肉屋、八百屋、お惣菜（コロッケなど） • ママ友と一緒にランチが気軽にできるところ • レストラン、焼肉、回転寿司などさまざまな飲食店 • 出前を出してくれる店 • 新鮮な野菜や果物 • 直売所 • バザーなど賑やかな市場 • ファーマーズマーケット • お年寄りの日用品 • 商品がいきいきしている • アレルギーを気にせず買えるお店 • パン屋 • 100円ショップ • 服屋 • ちょっとした手みあげを買える場所 • 体に良いものや手作りならではのものなど、こだわりの品がある店 • ひとつでも目掛けて訪れる店があると、周辺の他の店も利用してもらえる
<p>接客・コミュニケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 接客の良さ • モノのやすさ、早さなどではなく、店の方とのコミュニケーションが楽しめる • おいしい食べ方を教えてもらうなど、会話が楽しい • 八百屋のおばちゃんと子どもが顔見知りになって交流ができる

	<ul style="list-style-type: none"> • 商店街では対話があるのが楽しい。また、スーパー等にはない面白い商品やこだわりの商品を扱っている • 旬な野菜の情報を教えてくれる
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> • 商店街が何処にあるかわからない • どんなお店や商品があるのか、積極的なPRが必要
立地・交通の便	<ul style="list-style-type: none"> • 家からの近さ • バスの乗り降りが便利なところ（高齢のため） • 市内バスで行けるところ • 車での行きやすさ
設備	<ul style="list-style-type: none"> • アーケード（雨でもベビーカーで訪れることができる） • 駐輪場 • ポイントカードの導入 • 子どもが楽しめ、行きやすいところ • 子どもがいると狭い店には入りにくい • 商店街がある道路が、子どもと安心して歩けない • 高齢者は上り下りが大変なので、フラットで入りやすいと良い

(5) 西東京市産の野菜や果実を購入したことがあるか

回答者 77 名のうち、50 名が西東京市産の野菜や果実を「購入している」と回答した。



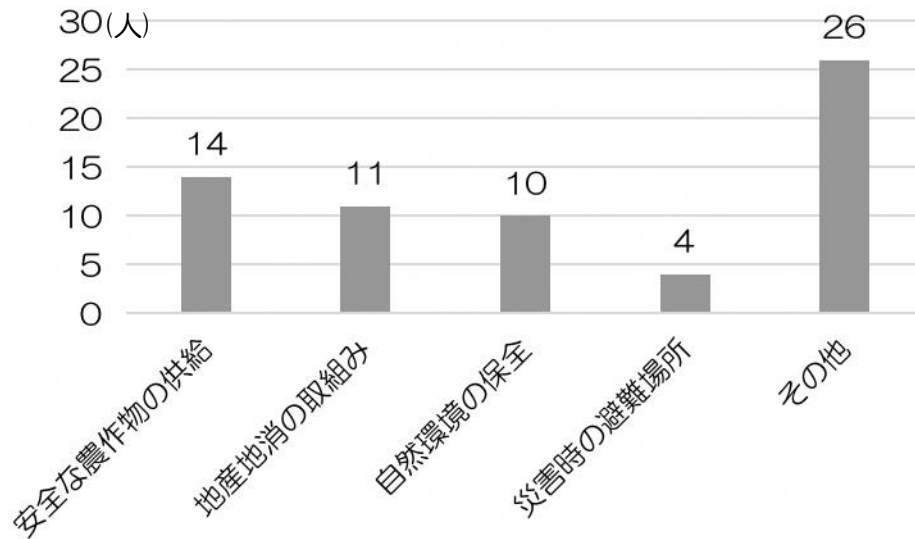
(購入先の店)

- アスタ地下商店街
- 農協の売店
- 近所の直売所

(6) どんな情報があったら市内産の農作物を購入したいと思うか

販売場所・売り方	<ul style="list-style-type: none">・ スーパー等に地元産のコーナー・ 作っている方の顔がわかるような売り方・ レシピや調理法が書かれていると買うきっかけになる・ 新鮮さを打ち出す・ 選べる野菜の多さ・ 一人暮らしなので少量で売って欲しい・ 家族が多いため一度に大量に購入したい・ 行きやすい場所（近く）で、定期的に販売があれば購入しやすい・ おしゃれ感や清潔感・ 道の駅のように、野菜の直売とあわせてジャムなど加工品も販売しているといい・ 駅近くで出店・ 宅配が可能
品の良さ	<ul style="list-style-type: none">・ 採れたてで新鮮さ・ 安さ・ オーガニック野菜があれば選びたい・ 西東京市でしか売っていないものがあれば購入したい
情報発信・PR	<ul style="list-style-type: none">・ 情報がない、直売所などを知らない・ 小学校など学校を通してチラシ等を入れてもらえれば信頼できる・ それぞれの直売所で販売している時間や曜日が決まっているなら知りたい

(7) 西東京市の農業・農地に期待する役割（複数回答）



（その他の内容）

- ・ 目が癒される。子どもに野菜の話ができる。新鮮さ、安さはありがたい。（40代・芝久保町）
- ・ 小学生の農業体験。自分で作ったものは特別らしく、大事に食べる。（30代・小平市）
- ・ 子どもが野菜について知る機会になる。（40代・立川市）
- ・ 子どもが農業体験できる。（40代・田無町）（30代・東村山市）（30代・富士町）（40代・武蔵野市）他
- ・ 友人がシェア畑を利用している。子どもと一緒に収穫することに憧れる。（40代・谷戸町）
- ・ 地域の豊かさの象徴。（40代・南町）
- ・ 無農薬の推進。（20代・田無町）
- ・ 新鮮な野菜が手にはいる。（70代・北原町）
- ・ 地元野菜のことを伝えていくことが大事。（40代・小金井市）
- ・ 農作業を通じた地元とのつながりづくり。（40代・保谷町）
- ・ 災害時に物流が滞った時にも農産物を供給することができる。（60代・芝久保町）